

令和7年度 利尻富士町立鶴泊中学校 グランドデザイン

校訓

「仁愛剛毅」

鶴中 HP
QRコード



学校教育目標

「生きる力」を身に付けた生徒の育成

- 1 主体的に学び、確かな資質・能力を身に付けた生徒
- 2 他者と協働し、よりよい生き方を考えられる生徒
- 3 心身が健康で、ねばり強く努力できる生徒
- 4 地域・社会に学び、参画できる生徒

目指す学校像

【つながりの中で、
鶴中でよかったと思える学校】

- ・子どもの未来を保障する学校
- ・安心と協力が満ちあふれる学校
- ・地域から信頼される学校

ICT 教育

小中一貫教育

重点1

子どもの未来を保障

- ・新しい時代に必要な資質・能力の育成
- ・教職員の資質・能力の向上
- ・生徒の学びを保障する ICT の活用

重点2

豊かな心を育む生徒指導

- ・安心で楽しい授業・学校生活
- ・「いじめ」の早期発見・早期対応
- ・地域・ふるさとと学ぶ体験活動

重点3

保護者・地域との協働体制

- ・小中一貫教育の推進・中高連携
- ・学校運営協議会との連携
- ・HP 等での鶴中情報の発信

重点4

教職員の働き方改革

- ・道アクション・プラン
- ・利尻富士町アクション・プラン
- ・業務改善、超過勤務減

鶴中の校内研修（授業改革）

研究主題

主体的に学び合い、生徒一人一人の学力向上を目指す指導方法の工夫
～協働的な学びや個別最適な学びの実践を通して～

○協働学習を取り入れる主なねらい

・一人では課題解決が困難な生徒を、協働学習を通してひとつでも多くの課題を理解できるようにする。

・他者の意見と触れ合う機会を増やすことで、課題解決までの思考力をつける。

○具体的な授業の在り方（教師の役割）

生徒の発する「わからない」という「困り感」を支援し、生徒をつなぎ、資料をつなぐファシリテーターの役割を果たす。

鶴中教育の評価

- ・全国学力・学習状況調査平均正答率：全員 70 %以上
- ・伸びしろ層（正答率 30 %未満生徒）0 人
- ・学力の評価～チャレンジテスト S サポート問題 文協テスト 単元テスト 各種検定
- ・体力の評価～新体力テスト（年 2 回全学年実施） 全国運動状況調査
- ・生徒分析～教育相談 いじめアンケート（年 3 回） ほっとの活用
- ・教育活動の評価～学校評価全項目 3.5 以上